

高橋 基樹 教授 略歴

(1) 学歴

- 1982年 3月 東京大学経済学部経済学科卒業（経済学士）
 1984年 3月 東京大学経済学部経営学科卒業（経済学士）
 1989年 7月 ジョンス・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院（アフリカ研究専攻）修了（国際関係論修士）

(2) 職歴

- 1984年 4月 日本郵船（株）就職
 1991年 8月 （財）国際開発センター研究員
 1995年 3月 神戸大学大学院国際協力研究科助教授
 2002年 7月 タンザニア・ダルエスサラーム大学経済研究所客員研究員
 2002年 8月 神戸大学大学院国際協力研究科教授
 2002年 8月 イギリス・ロンドン大学東洋アフリカ研究院客員研究員
 2004年 1月～2007年 2月
 神戸大学大学院国際協力研究科副研究科長・神戸大学教育研究評議会評議員
 2007年 2月～2009年 2月
 神戸大学大学院国際協力研究科長
 2016年 4月 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授兼任
 2018年 4月 神戸大学名誉教授

(3) 学会活動ほか

- 2005年 5月～2011年 5月 日本アフリカ学会評議員
 2005年 11月～2011年 11月 国際開発学会常任理事・編集委員長
 2014年 5月～現在に至る 日本アフリカ学会評議員・理事（編集担当）
 2008年 11月～2011年 11月 国際開発学会副会長・大会組織委員長
 2011年 10月～現在に至る 日本学術会議連携会員
 2011年 11月～2014年 11月 国際開発学会理事
 2014年 11月～2017年 11月 国際開発学会会長

高橋 基樹 教授 主要業績目録

(1) 単著

1. 高橋基樹、2010、『開発と国家：アフリカ政治経済論序説』 勁草書房 xi+p. 461.

(2) 編著

2. 高橋基樹・北川勝彦（編）、2004、『アフリカ経済論』 ミネルヴァ書房 vii+p. 321.
3. 高橋基樹・西川潤・山下彰一（編）、2006、『国際開発とグローバリゼーション』 日本評論社 xiv+p. 278.
4. 高橋基樹・福井清一（編）、2008、『経済開発論－研究と実践のフロンティア』 勁草書房 xvi+p. 382.
5. 高橋基樹・西川潤・下村恭民・野田真里（編）、2011、『開発を問い直す－転換する世界と日本の国際協力－』 日本評論社 vi+p. 327.
6. 高橋基樹・北川勝彦（編） 2014、『現代アフリカ経済論』 ミネルヴァ書房 x+p. 395.
7. 高橋基樹・大山修一（編） 2016、『開発と共生のはざままで－国家と市場の変動を生きる』 京都大学学術出版会 xi+p. 428.
8. Kitagawa, Katsuhiko, and Motoki Takahashi eds. 2016 *Contemporary African Economies: A Changing Continent under Globalization*. African Development Bank.
9. Motoki Takahashi ed. 2018 *African Potentials: Their Diversity, Dynamism and Challenges* (African Study Monographs Supplementary Issue no.56) The Center for African Area Studies, Kyoto University.

(3) 論文

10. 高橋基樹、1993、「サブサハラ・アフリカの経済危機と開発政策：タンザニアとケニアの比較を通じての検討」『世界経済評論』（世界経済研究協会）37巻11号 pp. 45-53, 69.
11. 高橋基樹、1994、「アパルトヘイト解体後の南部アフリカにおける地域市場統合」『IDC フォーラム』（国際開発センター）14号 pp. 46-69.
12. 高橋基樹、1995、「ケニアにおける市場、政府、及び経済改革：＜成長志向の＞構造調整に関する一試論」『世界経済評論』（世界経済研究協会）39巻8号 pp. 52-61.
13. TAKAHASHI, Motoki, 1996, *The Quest for Effectiveness: Changing Southern Africa and Japanese Economic Cooperation*, (IDCJ Staff Working Paper no. 50), International Development Center of Japan pp. 1-53.

14. 高橋基樹、1996、「環インド洋経済圏の現状と展望：アフリカからオーストラリアに至る広域経済協力の可能性」『IDC フォーラム』（国際開発センター）15号 pp. 24-37.
15. 高橋基樹、1996、「国際通貨基金の国際収支支援政策とサブサハラ・アフリカ」林晃史編『冷戦後の国際社会とアフリカ』（アジア経済研究所）pp. 179-211.
16. 高橋基樹、1996、「独立後ケニアの政治経済体制とその変動」林晃史編『アフリカ諸国の「国家建設」と課題』（日本国際問題研究所）pp. 81-99.
17. 高橋基樹、1996、「構造調整政策と資源配分システム分析の理論的構成：サブサハラ・アフリカにおける市場育成・経済開発に向けて（1）」『国際協力論集』（神戸大学大学院国際協力研究科）4巻2号 pp. 41-64.
18. 高橋基樹、1996、「農工間資源移転の政治経済学とサブサハラ・アフリカ—寺西仮説をめぐって—」『国民経済雑誌』（神戸大学）174巻6号 pp. 109-129.
19. Watanabe, Michio and Motoki Takahashi, 1997, "The Effectiveness of Donor Aid on Kenya's Health Sector," in J. Carlsson, G.Somolekae, and N. van de Walle eds., *Aid Effectiveness in Africa*, Scandinavian Institute of African Studies pp. 112-127.
20. TAKAHASHI, Motoki, 1997, "Changing Rules of the Game in a Multi-ethnic Sub-Saharan African Country: Economic Resource Allocation Mechanism in Kenya," paper presented at Workshop on Political Economy of Rural Development Strategy at the World Bank, Washington, D.C. (May 1997) p. 72.
21. 高橋基樹、1997、「モイ体制下のケニアにおける構造調整政策と資源配分メカニズム」林晃史編『アフリカ諸国の「国家建設」と課題』（日本国際問題研究所）pp. 98-117.
22. 高橋基樹、1998、「日本の対後発途上国向け援助の再検討：援助の理念と自助努力支援」今岡日出紀編『援助の評価と効果的实施』アジア経済研究所 pp. 73-119.
23. 高橋基樹、1998、「現代アフリカにおける国家と市場：資源配分システムと小農発展政策の観点から」『アフリカ研究』（日本アフリカ学会）52号 pp. 1-28.
24. 高橋基樹、1998、「現代アフリカの〈部族〉主義再考：経済的資源配分の観点から」『国際問題』（日本国際問題研究所）460号（7月号）pp. 35-53.
25. 高橋基樹、1998、「1990年代のケニアにおける〈国家建設〉の課題と展望」林晃史編『アフリカ諸国の「国家建設」と課題』（日本国際問題研究所）pp. 77-93.
26. 高橋基樹、1998、「アフリカ農業危機の構造的要因：農村共同体メカニズムの観点から」『国民経済雑誌』（神戸大学）178巻5号 pp. 55-78.
27. TAKAHASHI, Motoki, 1998, "The Role of Agriculture in African Economic Growth and Relevant Development Challenges: Small Farmers' Development, Sectoral Resource Transfer,

- and Institutional Building,”『国際協力論集』（神戸大学大学院国際協力研究科）6巻2号（The first version was presented at the 16th World Bank-EDI/FASID Joint Seminar on Strategy for Economic Growth in Eastern and Southern Africa at Kadoma, Zimbabwe, March-April 1998） pp. 35-70.
28. 高橋基樹、1999、「現代アフリカにおける〈バッド・ガバナンス〉と共同体の復権」大林稔編『アフリカ：第三の変容』 昭和堂 pp. 51-70.
29. Takahashi, Motoki and Taichi Sakano, 1999, “Can ‘the Miracle’ be Replicated?: Official Development Assistance and Technological Transfer from Japan to East Asia and Southern Africa,” *Journal of Developing Societies* vol. 15. fasc.1 (Special Issue for Science and Technology in Southern Africa and East and South Asia, April 1999) pp. 61-94.
30. 高橋基樹、1999、「1990年代における対アフリカ開発援助の新展開：第2世代アプローチとグローバルイゼーション」『国際協力論集』（神戸大学大学院国際協力研究科）7巻2号 pp. 153-179.
31. 高橋基樹、2000、「アフリカ開発におけるセクター・プログラムの展開：その日本にとっての意義と問題点」『国際農林業協力』（国際農林業協力協会）vol. 23 pp. 2-10.
32. 高橋基樹、2000、「アフリカ型オランダ病と構造調整：ザンビアの事例から」『国民経済雑誌』182巻5号 pp. 31-55.
33. TAKAHASHI, Motoki, 2001, “The Creation of the Developmental States: Arguments and the Reality in Africa,” in E. KURIMOTO ed. *Rewriting Africa: Toward Renaissance or Collapse?* National Museum of Ethnology pp. 59-77.
34. 高橋基樹、2001、「収奪国家論批判：サブサハラ・アフリカにおける経済開発に向けて（2）」『国際協力論集』9巻1号 pp. 93-122.
35. 高橋基樹、2001、『アフリカにおける開発パートナーシップ：セクター・プログラムを中心に』（Partnership for Development in Africa through Sector Program：和英併載）国際協力事業団国際協力総合研修所（援助課題シリーズ no. 1） p. 66.
36. 高橋基樹、2001、「アフリカにおけるセクター・プログラム：貧困削減に向けた開発パートナーシップ」『国際協力研究』17巻2号 pp. 9-19（『PRSPと援助協調に関する論考』 独立行政法人国際協力機構国際協力総合研修所2004年に再録）。
37. 高橋基樹、2002、「収奪国家と脆弱国家－アフリカにおける経済的ガバナンスと開発－」小田英郎編『サブサハラ・アフリカにおけるガバナンス研究調査』 日本国際問題研究所 pp. 97-113.
38. 高橋基樹・藍澤淑雄・佐々木亮、2002、「アフリカ農村開発における政府の役割：タンザニ

- アにおける農業・農村開発セクター・プログラムの導入と日本の新しい取り組み」『IDCJ Forum』no. 22 pp. 75-100.
39. 高橋基樹、2002、「個人と全体の二項対立をどう越えるかーアフリカ経済論再構築の一助としてー」平野克己編『アフリカ経済論再構築に向けて』アジア経済研究所 pp. 113-146.
 40. TAKAHASHI, Motoki, 2002, "On Japanese Aid to Tanzania: Peculiarity, Problems, and Prospects," paper submitted to Economic Research Bureau, University of Dar es Salaam, pp. 1-26 (an abridged version was published in *Tanzanian Economic Trends* vol. 15 no. 2 2002 pp. 29-40).
 41. 高橋基樹、2002、「援助と開発をつなぐものー国際協力研究の新しい地平ー」『神戸発 社会科学のフロンティア』神戸大学六甲台五部局百周年記念事業検討委員会 pp.86-114.
 42. TAKAHASHI, Motoki, 2002, "NEPAD and Governance in the Twenty-first Century," *Japan Review of International Affairs* vol. 16. no. 4 pp. 263-282.
 43. TAKAHASHI, Motoki, 2003, "Sector Programs in Africa: Development Partnership for Poverty Reduction," *Technology and Development* no. 16 pp. 15-22.
 44. 高橋基樹、2003、「援助協調ー日本の対貧困国協力への問い」『IDCJ Forum』no. 23 pp. 29-43.
 45. 高橋基樹、2003、「アフリカ国家論と経済開発政策：新政治経済学の再検討」平野克己編『アフリカ経済学宣言』アジア経済研究所 pp. 229-276.
 46. 高橋基樹、2003、「貧困削減と援助協調ーアフリカにおける農業・農村開発の動向」『沙漠研究』（日本沙漠学会誌）13巻2号 pp. 101-108.
 47. 高橋基樹、2003、「不完全国家の理論に向けてーアフリカと経済開発研究の盛衰」『国民経済雑誌』188巻3号 pp. 57-79.
 48. 高橋基樹、2003、「援助依存を超えてーアフリカにおける貧困削減パートナーシップとNEPAD」大林稔編『アフリカの挑戦ーNEPAD(アフリカのための新開発パートナーシップ)』昭和堂 pp. 91-118.
 49. 高橋基樹、2004、「アフリカにおける『構造調整の政治経済学』再考ー合理的選択論の批判的検討」『日本比較政治学会 2004 年度研究大会報告論文集』 pp. 202-211.
 50. 高橋基樹、2005、「アフリカの農業停滞と政府の役割：革新技術と財政支出の計量分析を中心に」平野克己編『アフリカ経済実証分析』アジア経済研究所 pp. 69-130.
 51. 高橋基樹、2005、「ファンジビリティと開発援助ー貧困国家に対する一般財政支援の課題ー」『国民経済雑誌』191巻6号 pp. 68-86.
 52. TAKAHASHI, Motoki, 2005, "Development Coordination: A Challenge to Japan's

- Development Assistance for Poor Countries,” GRIPS Development Forum Discussion Paper no. 12 pp. 1-19.
53. 高橋基樹・小川いづみ、2006、「アフリカにおける食糧問題と政府の役割－マルサスの危機の克服のために－」『国際開発研究』15巻2号 pp. 65-80.
54. 高橋基樹、2006、「アフリカ国家の変容と『新しい帝国』の時代」川端正久・落合雄彦編『アフリカ国家を再考する』晃洋書房 pp. 104-131.
55. 高橋基樹、2007、「アフリカと人間の安全保障」絵所秀紀監修・国際協力機構編著『人間の安全保障－貧困削減の新しい視点』国際協力出版会 pp. 99-132.
56. 高橋基樹、2007、「アフリカにおける人間の安全保障と国家－アフリカ研究と国家および人間－」『アフリカ研究』（日本アフリカ学会）第71号 pp. 51-61.
57. 高橋基樹、2008、「アフリカをめぐる国際援助の潮流についての一試論－『国家の破産』を超えて」吉田栄一編『アフリカ開発援助の新課題－アフリカ開発会議 TICAD IV と北海道洞爺湖サミット』、情勢分析レポート no. 10 アジア経済研究所 pp. 15-45.
58. 高橋基樹、2009、「日本の貧困国援助の比較論的考察－援助レジームの変遷をめぐる」『国際開発研究』第18巻第2号 pp. 111-128.
59. TAKAHASHI, Motoki, 2010, “Inter-linkage between Ethnicity and Development: An Analytical Framework,” Presented at the Forum on “Ethnic Diversity and Economic Stability in Africa Revisited,” at Yale University, p. 44.
60. 高橋基樹、2010、「日本の対アフリカ援助外交の変遷－＜反応＞性と政治的意志の欠如」『国際問題』（日本国際問題研究所）591号（5月） pp. 14-27.
61. TAKAHASHI, Motoki, 2010, “The Ambiguous Japan: Aid Experience and the Notion of Self-help,” Howard P. Lehman ed. *Japan and Africa: Globalization and foreign aid in the 21st century* Abingdon: Routledge pp. 39-70.
62. TAKAHASHI, Motoki, 2010, “Japan and the Poverty Reduction Aid Regime: Challenges and Opportunities in Assistance for Africa,” Howard P. Lehman ed. *Japan and Africa: Globalization and Foreign Aid in the 21st century* Abingdon: Routledge pp. 117-148.
63. 高橋基樹、2010、「『国際開発研究』に見る学会の歩み」国際開発学会編『貧困の無い世界を目指して－国際開発学会20年の歩み』同文館 pp. 25-40.
64. 高橋基樹、2011、「開発のための公共性の構築－アフリカ政治経済論の新しい展開に向けて－」『国民経済雑誌』第203巻第4号 pp. 1-29.
65. 高橋基樹、2012、「アフリカと日本」西島章次・久保広正編『現代の世界経済と日本』ミネルヴァ書房 pp. 185-218.

66. 高橋基樹、2012、「飢餓と栄養不良－食料安全保障を目指して－」 勝間靖編『テキスト国際開発論－貧困をなくすミレニアム開発目標へのアプローチ』 ミネルヴァ書房 pp.79-90.
67. 高橋基樹、2012、「ケニアにおける所有、境界、および暴力」 川端正久・落合雄彦編『アフリカと世界』 晃洋書房 pp. 165-209.
68. TAKAHASHI, Motoki, 2012, "Rise in Economic Interactions in the Indian Ocean Rim: Implication for Maritime Policies in African Countries," *Journal of Maritime Researches* vol. 2 no. 1 pp. 25-46.
69. 高橋基樹、2012、「多重乖離型経済<体制>としてのケニア:寡頭支配と『部族』主義のポリティカル・エコノミー」(招待論文) 『比較経済研究』第49巻第2号(2012年6月) pp. 1-14.
70. 高橋基樹、2012、「アフリカにおける『部族』主義のメカニズム:考察の枠組みと分析の課題」『国民経済雑誌』第206巻第4号(2012年10月) pp. 19-52.
71. TAKAHASHI, Motoki, 2013, "Overview: Why Social Cohesion in Kenya?" the 43rd Annual Conference Canadian Association of African Studies, May 3, 2013 Carleton University (Ottawa, Canada), p. 30.
72. 遠藤衛・高橋基樹、2014、「アフリカにおける国際開発援助の展開と日本の役割」 栗田匡相・野村宗訓・鷺尾友春編『日本の国際開発援助事業』 日本評論社 pp. 37-66. (遠藤衛と共著)。
73. 佐野康子・高橋基樹・遠藤衛、2014、「1980年代以降の援助レジームの変遷とポスト MDGs」『国際開発研究』23巻2号 pp. 23-36.
74. TAKAHASHI, Motoki, 2015, "Towards Development Cooperation as Inter-Cultural Dialogue: ODA and Japan's Experience of 'Self-Help' " *PFUR Bulletin of International Relations* (People's Friendship University, Russia) vol. 15 issue 1, pp. 5-14.
75. 高橋基樹、2015、「アフリカ開発援助における日本の役割－イギリスとの比較を通じて－」 黒崎卓・大塚啓二郎『これからの日本の国際協力－ビッグ・ドナーからスマートドナーへ－』 日本評論社 pp. 65-95.
76. 高橋基樹、2015、「経済開発研究での継承・発展－地域研究と歴史研究の観点から－」 国際開発学会第16回春季大会<「経済発展のメカニズムと政策・支援:石川滋先生の貢献と現代」>報告論文 p. 16.
77. 高橋基樹、2015、「現代アフリカ国家の特質－その歴史的・包括的理解に向けて－」『国民経済雑誌』211巻1号 pp. 3-38.
78. TAKAHASHI, Motoki and OWA Masumi, 2016, "The Peculiarities of Japan's ODA and the Implication for African Development". André Asplund and Marie Söderberg eds. *Japanese Development Cooperation: the Making of an Aid Architecture Pivoting to Asia*. Routledge.

- pp. 19-40.
79. TAKAHASHI, Motoki, 2017, "National Integration, Political Violence and People's Livelihoods: Conflicts and Coexistence in Rural Kenya" in Gebre Yintiso Deko, Itaru Ohta and Motoji Matsuda eds. *African Virtues in the Pursuit of Conviviality: Exploring Local Solution in Light of Global Prescriptions*. Langaa, pp. 171-204.
80. 高橋基樹、2017、「TICAD の変遷と世界－アフリカ開発における日本の役割を再考する」『アフリカ・レポート』no. 55 pp. 47-61.
81. TAKAHASHI, Motoki, 2017, "Enterprise Promotion in the Road Construction Sector in a Conflict-ridden Area in Kenya: a Solution for the Nexus of Developmental Problems?" *IDE Working Paper* no. 670 p. 28.
82. 高橋基樹、2018、「資源をめぐるポリティカル・エコノミー－現代アフリカ国家史に向けての覚書－」『関西大学経済論集』67巻4号（北川勝彦先生退職記念号）pp.71-93.
83. 高橋基樹、2018、「日本の援助の進化と退化－国際公共善への貢献を規定するもの－」『経済志林』第85巻第4号（絵所秀紀教授退職記念号）pp. 197-246.

（4）その他

84. 高橋基樹、2001、「アフリカ研究と主流派経済学－その展開と可能性－」（〈特集：21世紀のアフリカ研究〉『アフリカ研究』57号 pp. 13-16.
85. 高橋基樹、2014、「総説－経済学」『アフリカ学事典』昭和堂 pp. 230-243.
86. 高橋基樹、2016、「国際援助協調と新興ドナーの台頭」『外交』pp. 48-55.
87. 高橋基樹、2017、「アフリカと日本のかかわり」遠藤貢・関谷雄一編『東大塾 社会人のための現代アフリカ講義』東京大学出版会 pp. 105-134.

ほか、書評、時評、辞典項目、エッセイ等多数。